

**CT(日本認知療法・
認知行動療法学会)
プログラム**

一般演題(口演)

※オンデマンド配信
7月8日(木)～7月31日(土)

一般演題(口演)

1. 気分障害

CP1-1 強い不安の訴えを主訴としたうつ病患者への認知行動療法

福山 侑希¹⁾、中尾 重嗣²⁾

1) 藍野花園病院、2) 東京歯科大学市川総合病院

CP1-2 うつ病に対する認知行動療法初学者における認知行動療法スキルと症状改善の関連：厚生労働省認知行動療法事業データベース解析

満田 大¹⁾、中川 敦夫^{1,2)}、大野 裕³⁾

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター、3) 大野研究所

CP1-3 うつ病の認知行動療法の中で反芻への介入を行ったことで症状が改善したうつ病の1例

伊原 栄¹⁾、中川 敦夫²⁾、三村 将¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

CP1-4 うつ病患者において認知行動療法は未来のポジティブな想起反応を変化させるのか？

天野 瑞紀¹⁾、中川 敦夫²⁾、片山 奈理子¹⁾、梅田 聡³⁾、寺澤 悠理³⁾、田淵 肇¹⁾、菊地 俊暁¹⁾、三村 将¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター、3) 慶應義塾大学文学部心理学研究室

2. 発達障害・知的障害

CP2-1 休職中の発達障害者に対する時間管理の集団認知行動療法プログラムの作成

前田 エミ¹⁾、牧野 加寿美¹⁾、中島 美鈴^{2,3)}、要 齊¹⁾

1) 医療法人要会かなめクリニック、2) 肥前精神医療センター、3) 九州大学

CP2-2 成人期発達障害の女性が抱える困難とそのコーピングについてー内容分析による検討ー

宮岡 佳子^{1,2)}

1) 跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科、2) 小石川東京病院

3. その他の精神疾患

CP3-1 強迫症への集団認知行動療法プログラムの実践報告

三田村 康衣¹⁾、平 大樹¹⁾、石原 夕夏¹⁾、山崎 千佳²⁾、白木原 和薫³⁾、蟹江 絢子⁴⁾、
今村 扶美¹⁾、平林 直次¹⁾、鬼頭 伸輔¹⁾、堀越 勝⁴⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター病院、2) 神奈川県立精神医療センター、3) 多摩あおば病院、
4) 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

4. リハビリテーション

CP4-1 脳卒中後うつに対する認知行動療法の有用性に関する一考察

川田 佳央¹⁾、大嶋 伸雄²⁾

1) 東京ちどり病院、2) 東京都立大学大学院人間健康科学研究科

5. 健康増進・予防医学

CP5-1 父親における職場と地域のソーシャルキャピタルが産後うつ・不安症状に与える影響

土井 理美¹⁾、伊角 彩^{1,2)}、藤原 武男¹⁾

1) 東京医科歯科大学国際健康推進医学分野、2) 日本学術振興会特別研究員

CP5-2 健常成人に対するマインドフルネス介入の有効性を予測する要因の検証

二宮 朗^{1,2)}、小杉 哲平^{1,3)}、是木 明宏^{1,4)}、橋本 善太⁵⁾、永岡 麻貴¹⁾、山田 成志^{1,6)}、
朴 順禮⁷⁾、藤澤 大介^{1,8)}、中川 敦夫^{1,9)}、三村 將^{1,2)}、佐渡 充洋^{1,2)}

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学ストレス研究センター、3) 群馬病院、
4) 国立病院機構下総精神医療センター、5) 横浜市立市民病院、6) 慈雲堂病院、
7) 慶應義塾大学看護医療学部、8) 慶應義塾大学医学部医療安全管理部、
9) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

6. 看護

CP6-1 精神科訪問看護師がガイドドディスカバリーと協同的实践で目標設定をしやすくしたオリジナルシートの効果

富樫 剛清¹⁾、中野 眞樹子²⁾

1) 笑む笑む訪問看護ステーション、2) 一般社団法人日本地域ケアネットワーク

7. 不登校

CP7-1 不登校保護者支援グループワーク受講1年後の語り 個人と家族システムに及ぼす長期的効果からの考察

南谷 則子

千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

8. 産業・ストレスマネジメント

CP8-1 情動的共感性がもたらす心理的苦痛を緩和する要因の検討 ～レジリエンスに着目して～

矢富 里佳、小山 憲一郎
福岡県立大学大学院人間社会学研究科

9. 成年期

CP9-1 完全主義が自己隠蔽を介して自尊感情に及ぼす影響

片岡 春奈¹⁾、福井 義一²⁾
1) 甲南大学大学院人文科学研究科、2) 甲南大学

10. 老年期

CP10-1 認知症に対するmindfulness-based interventionsの有効性： メタアナリシスと今後の研究への示唆

永岡 麻貴^{1,2)}、橋本 善太^{1,3)}、佐渡 充洋^{1,2)}、竹内 啓善¹⁾
1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学ストレス研究センター、
3) 横浜国立大学市民病院

11. 治療・介入技法

CP11-1 摂食障害に伴う窃盗症(クレプトマニア)に対する認知行動療法を中心とした介入 －裁判に関与して

稲永 澄子
カウンセリングオフィスハートフル

CP11-2 軽度の睡眠障害を訴える学生に対する簡易型認知行動療法を応用した睡眠教育の 有効性の探索的検討

川上 卓朗¹⁾、上田 ひとみ¹⁾、坂根 遥¹⁾、澤村 勇希¹⁾、寺本 航起¹⁾、小野 久江^{1,2)}
1) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理学専攻心理学領域、
2) 関西学院大学文学部総合心理科学科

CP11-3 行動経済学の心理療法への応用 －論理(合理)情動行動療法(REBT)への適用の可能性－

岩瀬 利郎
東京国際大学医療健康学部

CP11-4 うつ状態が遷延化している勤労者に対する問題解決的アプローチ －産業医との連携－

加来 明希子、吉村 靖司、高野 知樹
医療法人社団弘富会神田東クリニック

CP11-5 不安障害に対するマインドフルネス認知療法のfollow-up programの
feasibility studyによる効果および費用対効果の検証

山田 成志¹⁾、小杉 哲平^{1,3)}、二宮 朗^{1,2)}、是木 明宏^{1,4)}、橋本 善太⁶⁾、長岡 麻貴¹⁾、
朴 順禮⁵⁾、藤澤 大介^{1,6)}、中川 敦夫^{1,7)}、三村 將^{1,2)}、佐渡 充洋^{1,2)}

1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学ストレス研究センター、3) 群馬病院、
4) 国立病院機構下総精神医療センター、5) 慶應義塾大学看護医療学部、
6) 慶應義塾大学医学部医療安全管理部、7) 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター、
8) 横浜市民病院

12. 教育・研修

CP12-1 認知行動療法を実施する看護師のスーパーバイザーに求められる態度・スキル

岡田 佳詠

国際医療福祉大学成田看護学部看護学科